

事業所名

児童発達支援 放課後等デイサービス
どんぐりの森

支援プログラム

作成日

令和7年

2 月

1 目

法人（事業所）理念		将来に向けて個々に応じて自立した社会生活を実現するため、乳幼児・学童期の親子が共に安心して暮らせる生活のベースをつくります。													
支援方針		感覚統合・MBL(Movement Based Learning)を主軸とし、少人数活動や個別活動による療育支援を提供します。													
営業時間		児童発達支援 放課後等デイサービス		9 13	時	00 00	分から	15 18	時	00 00	分まで	送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	トイレトレーニング、衣服の着脱、荷物の整理整頓、食事に関する咀嚼やマナー、衛生指導などの支援をする（児童発達支援） 生活する上での困りごとを自分から伝えたり、考えたりしながら、自分の生活を快適にできるように支援する（放課後等デイサービス）													
	運動・感覚	身体の基盤を形成するための感覚統合やMBL、療育整体、体幹強化のための粗大運動、全身の運動機能の向上を図るため室内での粗大運動・公園遊具遊びからの感覚運動、生活や学習の基礎となる手指のスムーズな動きを獲得するための遊び（微細運動・ビジョントレーニング等）や課題 全ての運動機能の基盤となる感覚を刺激する感覚素材を取り入れた遊び													
	認知・行動	色や形、大きさ、数の概念を習得する遊び、空間や時間の概念を習得する遊び、もじ（ひらがな等）への興味や関心を引き出し遊びや生活に取り入れるための活動 短期記憶を養うための課題 ※認知の特性に応じて適切な情報処理ができるように配慮することを前提とします。													
	言語 コミュニケーション	発語を促すふれあいやごっこ遊び、受容言語を増やすための課題、ジェスチャーやサインによるコミュニケーションの取り入れ、 文章を組み立て発表する経験、子ども同士の関わりから生まれるコミュニケーション支援 それぞれの特性に応じた読み書き能力の向上を目指した課題への取り組み													
	人間関係 社会性	・自分自身を知り、自分を大切にできる気持ちや育み自分を好きになる関わりや活動 ・身近な大人を信頼し、安心して自己表現ができるようになる関わり ・場面に則した言動ができるようになるための活動 ・他者を受け入れる気持ちを持ち、共に楽しく過ごせるようになるための活動 ・定められた環境の中で待つこと、我慢することを習得するための活動 ・ゲーム等一定のルールを守ることによって生まれる楽しさを味わえる活動													
	※ 本人支援について各項目ごとに記しましたが、5領域はそれぞれが相互に関連し合っており、必ずしも1つの領域で支援が完成するものではありません。														
家族支援		・面談あるいは相談（ご家族の希望により毎月の場合もある）、支援記録によるフィードバックと成長点や課題点共有、きょうだい児の悩み事に対するアドバイスや支援を行います。 ・家庭でできるマッサージやエクササイズ（療育整体/MBL）等の提案を行います。							移行支援		・児童発達支援では、小学校入学を見据えて、具体的に今すべきことや入学後に想定されることをお伝えし継続的な支援を行います。 ・児童発達支援では保育所・幼稚園・こども園との連携を行います。 ・放課後等デイサービスでは、学校、学童保育、児童館との連携を行います。 ・放課後等デイサービスでは、ライフステージの切り替えを見据えて情報提供や体制づくりのお手伝い・支援を行います。				
地域支援・地域連携		可能な限り地域との連携を行い、支援に反映します。専門職（理学療法士・言語聴覚士）との連携を図り、定期的に各種検査の実施、指導を仰ぎながら支援のあり方に 大差が出ないように配慮します。							職員の質の向上		外部講師によるオンライン職員研修、外部講師による対面での職員研修を行い、支援内容の共有や技術向上を目指し研鑽に努めています。				
主な行事等		特に「行事」は行っていないですが、季節を通して「触覚」「嗅覚」「視覚」「聴覚」「味覚」「前庭覚」「固有受容覚」に触れる機会をつくっています。													